

No.1

令和7年度
事業報告書

社会福祉法人氷見市社会福祉協議会

令和7年度氷見市社会福祉協議会事業報告書

◆重層的支援体制整備事業関連事業

★…令和7年度新規事業

担当分野	事業名	事業概要	財源		
			自主	受託	補助
総務・運営課	市社協役員会・委員会の開催	理事会、監査会、評議員会等を開催し、市社協の運営について協議する。その他、専門部会及び各種委員会を設け、より専門分野について協議した。	○		
	市社協役員研修会の開催	市社会福祉協議会の使命と役割について、役員間の情報共有を目的に研修を開催した。	○		
	市社協会長表彰・かがやき賞授与、感謝状贈呈式典	地域福祉活動・ボランティア活動実践で顕著な功績があった団体・個人を表彰するとともに、先駆的且つ模範（モデル）的な活動実践を行った団体・個人にかがやき賞を授与した。併せて寄付における感謝状を贈呈した。	○		
	地域福祉計画推進研修	市の第4次地域福祉計画及び市社協地域福祉推進計画に掲げる目標や重点施策の実現に向け、組織基盤の強化、社協の機能強化を図るための研修を開催した。	○		
	福祉の魅力発信プロジェクト（富山県介護の魅力PR事業）	市内の福祉事業を実施する法人と連携し、介護や福祉の仕事の魅力を発信した。		○	
	地域福祉総合相談→ほっとねっと社協	市民のあらゆる悩みごとの相談に応じ、必要に応じ関係機関と連携し、市民の生活課題の解決に向けての支援した。	○		
地域福祉研修センター	地域福祉研修センター氷見の運営	氷見の地域福祉実践の検証と地域住民、専門職の取り組みについて検討することをねらいに、県内・県外の福祉専門職を対象とする研修企画、福祉系大学の専門職養成の実習と医療、教育関係者の実習の受入れ及び視察研修等の受け入れ調整等を行った。	○		○
	介護サービス従事者研修の開催	市内の介護サービスに携わる職員の資質向上を目的に各種研修会を開催した。	○		○
	市民講座の開催	「地域共生社会の実現」をテーマに住民に身近な福祉や生活についての課題に関する講座を開催し、市民の福祉への関心を高めるとともに、支援が必要な住民の早期発見、今後求められるサービスや事業の開発に向けた理解・啓発を図った。	○		○
	都城市社協人事交流職員育成事業	職員の育成並びに新たな地域福祉実践プログラムの開発、研究に取り組むため、都城市社会福祉協議会との人事交流を行った。	○		
	市社協職員研修の開催	社協職員の資質向上を目的に各種研修会を開催した。	○		
	福祉専門職養成実習の受け入れ	県内外の福祉専門職養成学校等における社会福祉士、介護福祉士、他14歳の挑戦や介護支援専門員等の実習を受け入れた。	○		
権利擁護	★成年後見サポーターの活動支援	呉西地区成年後見センターと連携し、市内在住の被後見人を支援する後見サポーターの活動を支援し、被後見人の権利擁護及び後見サポーターの活動の利便性向上を図った。		○	
その他	共同募金委員会の運営	地域福祉の推進のため共同募金委員会を運営し、共同募金の配分事業の募集及び配分事業の支援を行うとともに、寄付文化の醸成を図った。	○		○

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
地域福祉・ボランティア推進課	地域福祉活動の推進	ふれあいコミュニティケアネット21事業	シルバー談話室等の集合型地域福祉活動と地域住民による個別支援活動（ケアネット活動）を通じて、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを目指す21地区社協の活動に対し、活動費の補助を行った。	○		○
		ふれあい型の地域福祉活動支援	高齢者を対象としたシルバー談話室や在宅児とその保護者等を対象とした地区子育てサークルなど、地域住民のふれあいやつながりづくりを目的とした地区社協活動を支援した。	○		○
		ケアネット活動支援	あらゆる地域住民を対象に、声がけや見守り、身の回りのちょっとしたサポートを地域住民がチームになって行うケアネット活動を支援した。また、ケアネット活動では対応できないニーズを福祉専門職等へつなぐことや、福祉専門職等からのケアネット活動との連携を行った。	○		○
		地区社会福祉協議会連絡会議の開催	市内21地区社協の取り組みの紹介や各地区で抱えている課題やニーズなどの情報交換を目的に連絡会議を開催した。（①7月31日②11月20日③3月5日）	○		○
		地区社協新任役員研修会の開催	未実施	○		○
		地区社協トップセミナーの開催	地区社協連絡会議内で4つの部会を設けて、各テーマの取り組みを通年で議論する中で、「地域住民が集える居場所づくり部会」が11月29日に「地域食堂視察ツアー」を開催。「外出や買い物を支える生活支援サービス部会」が2月21日に「外出支援サービスについて考える意見交換会」を開催し、地域リーダーの資質向上に努めた。	○		○
		◆安心生活創造事業	あらゆる地域住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる場や機会、福祉などの公的サービスと協働して助け合いながら暮らすことができる地域共生社会を目指した地域づくりの支援を行った。		○	
		いのちのバトンの設置普及活動	救急搬送時や災害時に必要となる緊急連絡先や服薬情報などの情報を、あらかじめ自宅冷蔵庫に設置する「いのちのボタン」の設置・普及を地区社協とともに促進した。また、事業を通じ、平時及び災害時に支援が必要な地域住民の把握を進めた。		○	
		福祉・防災マップ・福祉支援及び孤立・孤独不安者リスト作成の支援	日頃の隣近所の支え合い体制強化の一環として、福祉と防災の情報が可視化できる「福祉・防災マップ」と、地域の中で福祉支援の対象となっている住民に加え、福祉防災マップ作成時にすでに支援の必要性が把握された住民、孤立・孤独の不安がある住民を対象にした、「福祉支援及び孤立・孤独不安者リスト」の作成を支援した。		○	
		生活支援サービスの実施支援	住民のニーズに対応するため、地区社協等における生活支援サービス（買い物や移動等）の検討・実施、対象を限定しない居場所（拠点）づくりに関わる取り組みの支援を行った。		○	
地域福祉活動の推進	地域福祉活動の推進	生活支援サービス車両提供事業	買い物支援や移動支援を実施する地区社協へ車両の貸し出しを行った。	○		○
		◆参加支援事業	社会的に孤立している（する可能性のある）市民や、引きこもり等で社会から一定期間離れている市民を対象に、本人の居場所や将来的な就労を視野に入れた就労体験等の機会を創出し、社会の一員として役割が持てるよう、地域や民間企業等と連携した支援を行った。		○	
		◆生活支援コーディネーター設置事業	生活支援コーディネーターを1名配置し、高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において住民主体の多様な事業主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを行った。		○	

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
地域福祉・ボランティア推進課	ボランティア活動の促進	ボランティア総合センターの運営	地域福祉活動、ボランティア・市民活動の普及・促進を目的に、ボランティア活動者支援、ボランティアコーディネート、ネットワークの構築、ボランティア情報発信、活動プログラムの開拓、出張講座、NPO法人設立支援、各種ボランティア調査を行った。	○		○
		ボランティア・市民活動相談 → ほっとねっとボラセン	地域福祉活動、ボランティア・市民活動に関する相談に応じ、専門機関と連携を図りながら解決に向けての支援を行った。	○		○
		ボランティア活動保険普及事業	ボランティア活動者が安心して活動できるための保険の紹介と加入受付、保険請求事務を行った。	○		○
		ボランティア寄付の普及・管理・運用	誕生日ボランティア寄付やふるさとボランティア寄付の普及を図り、各種寄付の受付を行う。また、寄付積立金の運用としてボランティア・市民活動支援事業の企画・実施の検討を行った。	○		○
		ボランティアイベントの開催	一般市民へのボランティア活動の啓発と、情報発信及び新たな活動者の発掘と、交流を目的としたイベントを開催し、相談受付、ボランティア活動や団体紹介などを行った。(①5月20日②8月30日③11月14日④2月20日)	○		○
		テーマ型ボランティア養成講座の開催	年齢や性別、国籍なども超えて楽しみ、交流できる活動として市内でも様々な場面で親しまれているレクリエーション。地域のサロンや福祉施設等で活躍するレクリエーションボランティアを育成する講座を開講した。(①2月25日②3月4日③3月11日)	○		○
		ボランティア・チャレンジ・プログラムの実施	市内在住・通学中の中高生を対象に、市内の福祉事業所及び地域活動、ボランティア団体の活動等にボランティアとして参加した。(7月25日～8月26日)	○		○
		ボランティア・チャレンジ・親子介護体験プログラム(富山県介護の魅力PR事業)	将来の福祉人材確保の取り組みとして、小・中学生とその親を対象に、介護等体験を長期休業中に実施し、介護等福祉職の魅力を体感してもらった。(7月26日、27日)		○	
		福祉教育推進体制の整備	福祉教育の推進を図るため、市内関係機関を対象とした情報交換会や市民向けの福祉教育セミナーを実施する。また、福祉教育をイメージしやすくするために、具体的なプログラムを作成し、関係機関へ周知した。	○		○
		福祉教育地域指定事業	氷見市ならではの地域ぐるみの福祉教育の実施を目指し、関係者との情報交換、互いの意識共有を図る為の検討会を開催し、モデル地域内で実施した。	○		○
		地域サロン等活动支援事業	地域ボランティアによって運営されているサロンの活性化と、住民の身近なたまり場づくりを支援するため、地域のサロンに対してレクリエーション資材を貸し出した。	○		○
		遊休品バンクEくすちやーEかすちやーの実施	一般の市民や企業、福祉事業所等から寄付として受け付けた物資を生活困窮者や災害被災者など、緊急的に支援が必要となった市民に対して、必要最低限の食料品や衣類等生活用品を提供した。	○		○
		ボランティア総合センター運営委員会の開催	運営委員によるボランティア総合センター事業の分析・評価を行い、市民のニーズを的確に捉えた運営を行うために運営委員会を開催した。(7月、11月)	○		○
		施設等ボランティア担当者連絡会の開催	市内事業所を対象に、ボランティア受け入れの重要性やポイント、氷見市ボランティア総合センターの役割などを周知するとともに、受け入れ時の悩み共有し担当者間の情報交換を図る連絡会を開催した。(6月19日)	○		○

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
	その他	いきいき元気館の運営・管理（指定管理者制度）	子どもから高齢者まで、幅広い世代の市民が健康や生きがいのために交流する場の運営・管理を行った。		○	

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
こども支援課	乳幼児・児童福祉	児童館の運営（指定管理者制度）	遊びや行事を通して、児童の健全な育成と豊かな情操を養う。また、氷見市の児童健全育成活動の拠点となるよう地域社会及び児童福祉関係機関等との連携に努めた。		○	
		地域子育て活動支援事業	地域における子育て支援環境の向上のため、地域の拠点に出向き、遊びの提供をしたり、運営上の相談に応じたりする等の支援を行った。	○		
		ファミリー・サポート・センター事業	保護者の緊急時、乳幼児の一時預かりを行った。また、地域での子育て支援を行い、児童福祉の向上を図った。	○	○	
		事業所内保育所の運営 ※令和7年度休園	事業所の従業者や一般就業者の仕事と子育ての両立支援をすると共に、働きやすい環境整備の一環を目指した乳幼児保育を行ってきたが、利用希望児（世帯）がいなかったため令和7年度は休園する。			
		乳幼児・子育て悩み相談 →ほっとねっときらら	乳幼児を持つ親を対象に、家庭、地域における生活上の悩みごとの相談に応じ、専門機関との連携を図りながら解決に向けての支援を行った。	○		
		学童保育サービス (放課後児童健全育成事業)	日中家に保育する者がいない小学生を対象にした児童の預かりを行った。		○	
		子ども・子育て悩み相談 →ほっとねっと児童館	子どもや子育て中の親を対象に、学校・家庭・地域における生活上の悩みごとの相談に応じ、専門機関との連携を図りながら解決に向けての支援を行った。	○		
		子育て支援スタッフ育成・発掘 事業	子どもの健全育成のために地域ぐるみで子育てをする環境づくりを進めるため、子育て支援現任者のほか、子育てに関心のある者等を対象とした研修を実施することによって、子育て支援ボランティアを発掘・育成し、地域における多様な子育て支援の充実を図った。		○	
		フードパントリー事業	家庭で使用しない食品や、団体・企業等で様々な理由により販売できない食品等を寄付していただき、必要な人へ届ける仕組みをつくり、経済的に困窮する家庭の生活を支えるため、食品を提供した。潜在的に生活困窮に陥っている家庭を早期に把握し、適切な支援へとつなげた。	○		○
高齢者支援課	高齢者福祉サービス	学習・生活支援事業	生活困窮世帯及び生活保護受給世帯等の小学生から高校生を対象に、生活する力の習得や学習意欲の向上を目的とした居場所を設け、貧困の連鎖を防いだ。（生活困窮者自立支援制度内任意事業）※ふくし相談サポートセンターと協働で実施		○	
		地域福祉総合相談 →ほっとねっと社協(再掲)	市民のあらゆる悩みごとの相談に応じ、必要に応じて関係機関と連携し、市民の生活課題の解決に向けての支援を行った。	○		
		ほっとヘルプサービス事業 (制度対象外のホームヘルプサービス)	公的サービスでは自立が困難な場合、家族に代わってホームヘルプサービスを有料で行った。	○		
	介護保険事業	日常生活用具貸出サービス（介護保険対象外）	介護保険適用外の高齢者や障害者等に車いすを貸し出した。	○		
		総合事業・居宅介護支援事業	要支援や要介護認定者の居宅サービス計画の策定及び連絡調整を行った。	○		
		総合事業・訪問介護事業	要支援や要介護認定者にホームヘルパーが自宅を訪問し、日常生活の世話をを行った。また、寝たきりや車椅子利用の方が安心して通院できるように送迎サービスを行った。	○		
	乳幼児・児童福祉	★子育て世帯訪問支援事業	家事・子育て等に対して不安を抱える子育て家庭、妊産婦、ヤングケアラー等がいる家庭を、訪問支援員が訪問し、家庭が抱える不安や悩みを傾聴するとともに、家事・子育て等の支援を実施することにより、家庭や養育環境を整え、虐待リスク等の高まりを未然に防いだ。		○	

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
	障害児	障害者ホームヘルプサービス	常時介護を必要とする在宅の身体障害者に身体介護、家事援助、外出時における移動中の介護を行い、障害者の自立支援及び家族の介護負担の軽減を図った。	○		

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
障害者福祉サービス課	障害者福祉サービス	障害者相談支援事業（委託相談）→ ほっとねっと我家	相談支援専門員が、年齢や障害種別にかかわらずご本人やその家族の相談に応じ情報提供をしたり、問題解決のための調整を行った。		○	
		指定特定相談支援事業	原則18歳以上65歳未満の障害のある方の、意思を尊重し必要な支援を提案しながらサービス等利用計画を作成し、より自立した在宅生活ができるよう支援を行った。基幹相談支援センターと連携するとともに、協議会に参画し地域づくりの一端を担った。	○		
		指定障害児相談支援事業	原則18歳以下の障害児やその家族の、成長発達に伴う生活の悩みや暮らし上の想いを受け、必要な支援を提案し支援計画の作成を行った。医療・教育・療育機関等との連携により課題解決できるよう支援を行った。	○		
		多機能型生活介護	障害者が、生きがいを持って自立と社会参加ができるよう意思形成・決定のための支援を基本方針とし、通所支援の中で情報提供、生活指導、健康チェック、入浴、食事、レクリエーションなどのサービスを提供した。	○		
		多機能型放課後等デイサービス	主に重度心身障害児や医療的ケア児1人ひとりの心に寄り添いながら微かな表現やサインを見逃さず、心身の状況に気付き、本人の思いを引き出しながら支援を行った。	○		
		共生型地域密着型通所介護事業	要介護認定者に身体及び精神機能面の維持に努め、本人及び家族支援などの目的を持って、送迎、健康チェック、入浴、食事、レクリエーションなどのサービスを施設にて提供した。	○		
		障害（児）者等通所入浴サービス	心身の障害や環境の障害などがあり、デイサービスや訪問入浴サービスの利用条件に満たない状態の時に、施設への送迎を行い、専用の浴槽を利用し入浴の機会を確保した。	○		
ふくし相談サポートセンター	生活困窮者自立支援	◆生活困窮者自立相談支援事業	経済的困窮者や複合的な課題を持つ世帯等の相談支援業務を担当し、従来の福祉分野を超えた多職種で支援するためのマネジメント及び就労に向けた環境整備等を行った。		○	
		家計改善支援事業	収入（賃金や公的年金等）と支出のバランスが崩れることによって様々な生活課題を抱えている生活困窮世帯等を対象に、家計状況の整理や契約内容の見直しなどを一緒に行い、関係する生活課題の解決に向けて支援した。 ※生活困窮者自立支援制度内任意事業		○	
		学習・生活支援事業	再掲（こども支援課と協働で実施）		○	
		生活困窮者等緊急生活支援事業	生活困窮者や緊急的な支援が必要な世帯を対象とし、必要最低限の食料品や衣類等生活用品の提供、住まいの応急的な補修・環境整備に要する資材の提供等、衣食住に対する支援を行った。	○		
		★ひきこもり支援推進事業	ひきこもり支援を推進するための体制を構築し、ひきこもり状態にある本人や家族等を支援することにより、ひきこもり状態にある本人の社会参加を促進し、本人及び家族等の福祉の増進を図った。		○	
	障害	◆基幹相談支援事業	障害児・者に対応する相談支援事業所が抱える困難ケースへのアドバイス及び介入をはじめ、人材育成・各機関とのネットワークづくりや市民の障害に対する理解促進及び当事者の権利擁護体制の構築等の環境整備を行った。		○	

担当	分野	事業名	事業概要	財源		
				自主	受託	補助
ふくし相談サポートセンター	重層的支援体制整備	多機関の協働による包括的支援体制構築事業	多機関協働マネージャーを配置し、対象を限定せずすべての市民の福祉に関わる相談に対応すると共に、地域や包括的相談事業（地域包括支援センター、困窮、基幹、こども家庭センター等）が把握した「社会的孤立者」等の支援について、地域、専門職、行政が円滑に連携し支援できるようコーディネートを行った。また重層的支援会議等、各種会議を通して支援体制の強化に関する取り組みを行った。		○	
		アウトリーチ等を通じた継続的支援事業	氷見市が目指すセーフティネットの構築に関連し、①社会的孤立状態（陥る可能性のある世帯）を早期に発見し関係者へつなげる担い手（地域福祉活動サポーター）や、②地区内で相談を受付ける場（地域なんでも相談）の設置、③それらと連携し、該当する世帯への訪問活動を通じて、地域生活課題を解決するための支援へとつなげるアウトリーチ支援員の配置により、セーフティネットの強化を図った。		○	
		各担当部署 ◆ 印事業	◆ 事業参照		○	
	被災者支援	★被災者見守り・相談支援事業	応急仮設住宅等に入居した被災者に対して、応急仮設住宅の供与期間中、孤立防止等のための見守り支援や、日常生活上の相談を行うとともに、被災者を地域福祉活動や関係支援機関へつなぐ等の支援を行った。		○	
SDGs推進室	権利擁護／資金貸付	日常生活自立支援事業	認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等判断能力が不十分な人が、安心して日常生活を送ることができるよう、利用者との契約に基づき福祉サービスの利用援助等を行った。		○	
		生活福祉資金貸付事業	失業者世帯、低所得者世帯、障害者世帯、高齢者世帯を対象に資金の貸付と必要な相談援助を行った。		○	
	その他	屋内健康広場の運営・管理（指定管理者制度）	市民が健康や生きがいのために交流する場の運営・管理を行った。		○	
プロジェクトチーム		地域福祉推進計画基盤強化プロジェクトの推進	人材確保・育成、情報管理、連携、ファンドレイジングの各プロジェクトチームを編成し、課題の整理及び課題解決に向けた取り組みを展開し市社協組織の基盤強化を図った。	○		
部会		職員のエリア担当制の実施	職員でチームを作り、それぞれ担当地域へ入り込み、地域住民と共に生活ニーズの把握・解決のための支援を行った。	○		
		広報「ひみのふくし」の発行・充実	市民に地域福祉の最新情報など情報提供を行った。（全戸配布）	○		

事業活動の概要

I 総務企画課

1. 法人運営

(1) 役員会の開催

開催日	会議名	出席者数	協議事項
6月3日(火)	監査会	2	令和6年度事業報告について 令和6年度収支決算について
6月12日(木)	第6回理事会	理事 8 監事 2	議案第25号 令和6年度事業報告について 議案第26号 令和6年度決算報告について 議案第27号 次期役員(理事・監事)候補者について 議案第28号 次期評議員候補者について 議案第29号 評議員選任・解任委員の選任について 議案第30号 令和7年度定時評議員会の招集について 議案第31号 令和7年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について
6月19日(木)	第1回評議員選任・解任委員会	3	議案第1号 評議員の選任について
6月27日(金)	定時評議員会	15	議案第20号 令和6年度事業報告について 議案第21号 令和6年度決算報告について 議案第22号 次期役員(理事・監事)の選任について
6月30日(月)	第1回理事会	11	議案第1号 会長、副会長、常務理事の選定について
3月26日(木)	第2回理事会	理事 10 監事 1	議案第2号 令和8年度事業計画及び予算(案)について 議案第3号 経理規定の一部改正について(案) 議案第4号 給与規定の一部改正について(案) 議案第5号 臨時従業員就業規則一部改正について(案) 議案第6号 令和8年度役員等賠償責任保険契約について(案) 議案第7号 令和7年度評議員会の招集について(案)
3月26日(木)	第1回評議員会	14	議案第1号 令和8年度事業計画及び予算(案)について

(2) その他委員会の開催

開催日	会議名	出席者数	協議事項
1月22日(木)	表彰選考委員会	5	表彰、感謝状の贈呈予定者について

(3) 会長表彰、かがやき賞、感謝状贈呈式の開催

実施日	会長表彰	かがやき賞	感謝状
2月28日(土)	個人8名	個人1名、1団体	個人2名、1団体

(4) 広報「ひみのふくし」の発行

発行月	特集ページ	他内容
4月	介護人材確保座談会	令和8年度共同募金事業募集、貸出レクリエーション資材の紹介、ひみのわ運営告知、ホッとおしゃべりサロン告知、寄付受付
5月	地域福祉活動・地域防災活動啓発	出張ボランティアセンター告知、被災者支援活動紹介、教えて！ケアマネさん、子育て家族応援講座募集、寄付受付
6月	市社協事業紹介（エリア担当メンバー紹介）	ボランティア活動啓発、いいね！地区社協（宮田地区社協）、日本語教室in氷見参加者募集、令和6年度予算、新入職員紹介、寄付受付
7月	障害者福祉センター我家20周年	地域福祉活動啓発（諏訪野「サーブこども食堂」）、見守り相談・支援事業紹介、親子介護体験参加者募集、会費納入のお願い、寄付受付
8月	ボランティア活動啓発（出張ボランティアセンター告知）	ボランティア活動啓発、地域福祉活動啓発、ヘルパー募集、決算報告、寄付受付 他
9月	避難疑似体験レポート 障害者雇用支援月間（当事者インタビュー）	ボランティア活動啓発、ボランティア団体紹介（阿部んジャーズ）、成年後見制度等相談会告知、寄付受付
10月	親子介護体験報告	地域福祉活動啓発（布勢地区「きづなサロン」）、学習・生活支援事業取り組み紹介、共同募金運動、おしゃべりサロン、ひみのわ告知、寄付受付
11月	地域福祉活動啓発（朝日丘校区社協「介護保険ちゃんげ？講座」）	ボランティア・チャレンジ・プログラム報告、共同募金レポート、市民講座告知、出張ボランティアセンター告知、24時間テレビチャリティー募金報告、寄付受付 他
12月	地域福祉活動啓発（十二町校下社協高齢者宅訪問）	障害者就労事業所紹介、県社会福祉功労者表彰、地域福祉活動啓発（藪田ふれあいサロン）、遊休品バンク募集、寄付受付 他
1月	朝日丘校区まちなかサロンひみ（駄菓子屋「東風」オープン）	地区社協設立40周年、被災者支援活動報告、賛助会員一覧、ボランティア団体紹介「にっこり絵手紙」、教えて！ヘルパーさん、寄付受付 他
2月	民生委員児童委員改選インタビュー	児童館クリスマスまつり、レクリエーションボランティア講座告知、しごとサポーター養成講座告知、出張ボランティアセンター告知、成年後見制度等相談会告知、寄付受付 他
3月	介護人材確保座談会	安靖氷見共同作業所胡桃雛製作、いいね！地区社協「八代地区社協」、共同募金レポート、ボランティア活動保険案内、世界自閉症啓発デー、寄付受付 他

(5) 第4次氷見市地域福祉計画、氷見市社協地域福祉推進計画の推進

第4次地域福祉計画及び地域福祉推進計画の推進のため、行政との事務局会議及び社協基盤協プロジェクトチーム（PT）による課題解決に向けた検討を行った。

①第4次氷見市地域福祉計画

月日	内容	アドバイザー
8月5日(火)	合同事務局会議 ・第4次計画の進捗確認 ・第5次氷見市地域福祉計画について 他	日本福祉大学 学長 原田正樹 氏
3月2日(月)	合同事務局会議 ・第5次氷見市地域福祉計画について 他	日本福祉大学 学長 原田正樹 氏

②氷見市社協地域福祉推進計画・組織基盤強化プロジェクトチーム（PT）

PT名	月日	主な内容	講師等
全体	8月5日(火)	地域共生者化の在り方検討会議中間とりまとめについて	日本福祉大学 学長 原田正樹 氏
人材確保・育成	4月	キャリアファイル更新	
情報管理	通年	相談記録共有のためのkintoneアプリの開発	合同会社HUGKUMI
連携	通年	各課担当業務分担の共有 各課親睦行事の実施	
	3月31日(火)	ヒヤリハットの共有に向けたkintoneの活用について協議	
ファンドレイジング	毎月2回程度	アドバイザーとのミーティング・助言	(一社)日本地域福祉ファンドレイジングネットワークCOMMNET 理事長 久津摩和弘 氏
	1月～3月	ロジックモデル策定 (被災者支援活動、こども支援)	
	2月24日(火)	4市合同ファンドレイジング研修（名古屋）	

(6) 福祉の魅力発信プロジェクト（富山県介護の魅力PR事業）

介護人材の確保に向け、若年層及び求職者層に対して介護の魅力を発信するため、小学生親子を対象とした体験会及び現役の介護事業従事者による座談会を開催した。

①ボランティアチャレンジ・親子介護体験プログラム

月日	内容	参加者	協力事業所
7月26日(土) 7月27日(日) 9:00～12:00	・職員による施設案内・介護機材の説明 ・AIを使った最新技術体験 ・認知症の話 ・クイズ大会 ・車いす体験 ・利用者と交流・工作レクリエーション ・職員への質問タイム	小学生親子5組（10名） 中学生10名	JA氷見市いこいの家 （デイサービス） リハハウス来夢（デイサービス） JA氷見市結の里（デイサービス） グループホームひまわり

②つながる氷見 福祉しごと座談会

月日	内容	参加事業所	備考
11月21日(金)	・市内介護保険事業所 職員による座談会の開催 ・座談会の内容をインターネット上で公開 ・ダイジェスト発行・配布	グループホーム堀田の家（介護福祉士） JA氷見市居宅介護支援事業所（介護支援専門員） 氷見市社協介護計画センター（介護支援専門員）	記事掲載先 TomorrowWorks.

2. 地域福祉研修センター氷見

第4次地域福祉計画が目指す地域共生社会の実現に向け、市民・専門職等を対象に、各種研修等を開催した。
また、職員の資質向上のための研修を開催した。

(1) 介護サービス従事者研修の開催

開催日	内 容	社協内	他事業所
4月16日(水)	地域の社会資源を知ろう	18	0
5月21日(水)	職業倫理及び法令遵守	17	0
6月18日(水)	感染症および災害に係る業務継続計画（BCP）について	18	0
7月16日(水)	ACPについて（もしもに備えた話し合い）	18	4
8月27日(水)	注意！家庭の食中毒予防	16	9
9月17日(水)	認知症及び認知症ケアに関する研修	18	4
10月15日(水)	被災者のメンタルヘルスで重要な事	21	6
11月19日(水)	緊急時の対応方法	13	9
12月17日(水)	薬の消費者教室	20	0
1月21日(水)	歯とお口の健康づくり	18	6
2月18日(水)	音楽の力を活かしたレクリエーションを学ぼう	18	4
3月18日(水)	子育て世帯訪問支援事業について	18	0
合 計		213	42

(2) 市民講座「自分らしく、これからを生きる～相続～」

地域共生社会の実現に向け、市民一人ひとりが役割を持ち、いきいきと自分らしく豊かに生きていく事をテーマに、昨年度市民からの要望があった内容で公開講座を実施した。

開催日	テーマ	講師	参加人数
3月8日(土)	相続のこと、考えてみませんか？ ・相続登記の義務化と相続登記 ・相続の準備を知ろう ・相続土地の国庫帰属制度	司法書士法人谷道事務所 代表・司法書士 谷道 伸也 氏	44
3月15日(土)	相続に関する無料相談会	司法書士法人谷道事務所 代表・司法書士 谷道 伸也 氏 他3名	15
合 計（延べ）			59

(3) その他の研修

①精神障害・発達障害者しごとサポーター養成講座

開催日	内容	参加人数	備考
2月18日(火)	1. 講義 講師 富山労働局職員 ハローワーク 職員 2. 基幹相談支援センターの紹介 講師 基幹相談支援センター職員	20	ハローワークと共働で職場における精神障害・発達障害者への理解を深める研修会を開催した。

(4) インターン・現場実習受け入れ

①社会福祉士資格取得実習

実習期間	実習生所属先	人数
該当なし		0

②介護支援専門員実務研修

実習期間	実習生所属先	人数
該当なし		0

③精神保健福祉士資格取得実習

実習期間	実習生所属先	人数
5月7日～5月29日	日本福祉教育専門学校	1

④インターン

実習期間	実習生所属先	人数
該当なし		0

(5) 職員派遣

地域福祉実践報告依頼等に対して職員を研修講師等として派遣した。

派遣日	派遣先
5月20日(火)	障害支援区分認定調査員研修
5月21日(水)	県支援者養成部会
6月16日(月)	障害者ファシリテーター研修会
7月23日(水)	自由民主党若手議員全国研修会（災害時の取り組み紹介）
7月30日(水)	居住支援協議会伴走支援プロジェクト
8月7日(木)	香川県災害福祉支援センター設立セミナー（災害時の取り組み紹介）
8月26日(火)	同行援護研修
9月6日(土)	障害者ピアサポート研修
9月9日(火)	社会福祉協議会全国会議（災害時の取り組み紹介）
10月19日(日)	日本社会事業大学大学院福祉フォーラム（災害時の取り組み紹介）
11月21日(金)	生活困窮者自立支援制度人材養成研修：家計改善支援事業支援員初任者研修（ZOOM）
11月26日(水)	地域生活支援体制整備事業全国ブロック研修
11月27日(木)	東海北陸ブロック市区町村社協職員研究集会inみえ（災害時の取り組み紹介）
12月3日(水)	北陸三県主任相談支援専門員養成研修
12月4日(木)	高次脳機能障害支援者養成研修
12月5日(金)	広島県災害ボランティアセンター運営者研修（災害時の取り組み紹介）
12月16日(火)	千葉県災害ボランティアセンター運営者研修（災害時の取り組み紹介）
12月17日(水)	静岡県社協第2回被災者中心の支援力強化研修（災害時の取り組み紹介）
12月20日(土)	ひみ教育フォーラム2025
1月22日(木)	専門コース別研修「意思決定支援」
2月2日(月)	災害時の生活困窮者支援会議
2月2日(月)	伊賀市地域包括支援センター介護支援事業連絡会（災害時の居宅介護支援事業の取組み紹介）
2月3日(火)	砺波広域圏研修「意思決定支援」
2月10日(火)	山口県社協被災から生活を立て直すためのシンポジウム（災害時の取り組み紹介）
2月24日(火)	4市合同ファンドレイジング研修（災害時のファンドレイジング実践紹介）
2月27日(金)	長野県内社協中堅職員研修
2月27日(金)	長野県社協災害ケースマネジメント研修（災害時の取り組み）

2月28日(土)	富山生協災害に関する勉強会（災害時の取り組み紹介）
----------	---------------------------

(6) 視察受け入れ

月 日	内 容	人数
4月23日(水)	日本福祉大学「災害時ヒアリング」調査	1
7月31日(木)	香川県善通寺市・社協「重層事業」	8
10月28日(火)	東近江市地区民協災害視察	20
11月6日(木)	香川県琴平町社協「災害時の取り組み」	10
11月14日(金)	菰野町議員災害視察	3
11月25日(火)	大学研究者等災害時の取り組み	4
3月31日(火)	文京学院大学	7

(7) 研修受け入れ

月 日	内 容	人数
該当なし		

(8) 氷見市社協職場内研修

開催日	内容	人数	講師等
6月7日(土)	令和7年度事業分析報告会	22	
8月5日(火)	地域福祉推進計画推進研修（再掲）	21	日本福祉大学 学長 原田正樹 氏
11月7日(金)	琴平町から学ぶ身元保証・死後支援勉強会	23	琴平町社会福祉協議会
12月8日(月)	県社協地域福祉実践研究発表会プレ発表会	12	
①5月25日(木) ②7月10日(木) ③11月20日(木) ④3月12日(木)	社内事例検討会	①16 ②19 ③16 ④19 計70	事例提供部署 ①障害者支援課 ②地域福祉・ボランティア推進課 ③ふくし相談サポートセンター ④高齢者支援課

(9) 都城市社協との人事交流研修事業

月 日	内 容	人数
1月11日～1月17日	都城市社協へ派遣	3
2月15日～2月22日	都城市社協より受入	3

Ⅱ 地域福祉・ボランティア推進課

«地域福祉活動の推進»

1. 地区社協連絡会議の開催

市内21地区社協の取り組みの紹介や各地区で抱えている課題やニーズなどの情報交換を行った。

日 時	内 容	出席地区数
7月31日（木） 13：30～	地区社協連絡会議 副代表の選任について、R6社協事業報告・決算、R7事業計画・予算、災害ボランティア・支えあいセンターの現状と被災者見守り・相談支援事業について、部会ごとの検討会 他	18
11月20日（木） 14：00～	高齢者が支え合うケアネット活動の在り方について、部会ごとの検討会 他	18
3月5日（木） 14：00～	部会ごとの進捗共有・意見交換、地区社協会長として現在感じている課題について 他	19

2. 地区社協トップセミナーの開催

第4次氷見市地域福祉計画の各施策項目の中から地区社協に期待される役割について実践する際の課題やノウハウを整理し取り組みを推進するため、地区社協連絡会議内に部会を設置し、検討した。

部会	主な取り組み・協議内容
地域住民が集える居場所づくり 部会	視察研修検討：実施時期、コース、内容、質問事項 11月29日（土）なだら食堂視察ツアー（宇波地区） 居場所づくりを市内で進める時の課題について協議
外出や買い物を支える生活支援サービス 部会	視察研修検討：実施時期、コース、内容、質問事項 2月21日（土）外出支援サービスについて考える意見交換会 3地区より発表（朝日丘校区、仏生寺地区、宇波地区） 今後について協議（いのちのボタン更新時にニーズ調査 他）
地域における相談体制 部会	事例集の様式作成：様式案作成、事例集の収集方法について 事例集の地域活用について意見交換
平時・災害時の個別支援活動 部会	「いのちのボタン」をテーマに情報交換会を計画（更新方法・時期、活用方法、普及に関わるメンバー、説明、同意の取り方などを共有する機会） ケアネット活動、福祉・防災マップ、いのちのボタンの地域活用について意見交換

3. ふれあいコミュニティケアネット21事業

（1）ふれあい型事業

地区社協単位に、乳幼児から高齢者までを対象にしたさまざまな地域福祉活動を展開するとともに、地域の福祉力向上を目的とした研修や広報による啓発を行った。

対象（内容等）	実施地区数	内 容
乳・幼児	16	地区サークル支援、保育園の行事協力
児童	10	小学校や育友会等との連携による行事開催など
障害児・者	0	施設訪問、車椅子体験
高齢者	21	ふれあいランチサービス、シルバー談話室、配食サービス、高齢者の料理教室、敬老の集い、一人暮らし高齢者宅訪問など
世代間交流	1	三世代料理教室、三世代交流会など
広報活動	8	地区社協だよりの発行、地域住民への福祉啓発など
その他		各種研修（健康、生活関連）、福祉調査、地区福祉大会、県内地区社協との交流

（２）ケアネット型事業

地区社協単位に、1人（家族）で生活していくことが難しい乳幼児から高齢者までを対象に、地域住民が見守りや話し相手などできることで支援し、関連する会議や研修を開催し地域の見守りネットワークを構築・強化した。

①ケアネット活動実績

	令和6年度	令和7年度	前年度比
チーム数	838	844	101%
協力者数	2,036	2,072	102%
延活動回数	53,386	49,217	92%

②ケアネット活動内容

見守り、話し相手、買い出し、ゴミ出し、送迎、おすそ分け、地域行事への誘い出し 等

③ケアネット関連研修・会議開催実績

	実施地区数	内 容
研修	21	ケアネットの現状に関する専門的知識と今後のケアネットのあり方について、講師を招いたり、グループ討議をした。
会議	21	ケアネット当事者の情報交換と新たなニーズ把握について、協議した。（地区社協役員、民生委員、ケアネットチーム員等）

4. 職員のエリア担当制

市内4つのエリアそれぞれに対して担当する職員でチームを作り、地域住民と共に生活ニーズや地域状況の把握すると同時に、地区社協や小地域で行われるボランティア活動などの地域福祉活動が活発化するよう、担当地域を訪問し支援を行った。

（１）職員の延地域訪問回数

エリア名	延訪問回数		主な訪問内容
	令和6年度	令和7年度	
氷見エリア	153	89	総会、集いの場訪問（広報取材・eスポーツ等）、研修サポート、個別支援体制の強化（福祉防災マップ&リストの更新、いのちのバトン更新）、地域福祉活動サポーター活動実績集計サポート、包括との情報交換会同席、なんでも相談窓口訪問、定例会議への同席等
南條エリア	203	189	
上庄谷エリア	127	106	
灘浦エリア	104	93	
合 計	587	477	
前年度比		81%	

5. 生活支援サービス車両提供事業（買い物支援サービス）

買い物や移動が困難な住民等に対して買い物支援や移動支援を実施する地区社協に対して車両の貸し出しを行った。民生委員児童委員や地域福祉活動サポーターの他地域のボランティアが運転手、介助員として支援するため、地区住民の変化や相談を受けたりできるよう支援した。

車両提供分	区 分	令和6年度	令和7年度	前年度比
	回数	48	41	85%
	利用者数	424	343	81%
	サポーター数	48	33	69%

6. 安心生活創造事業・セーフティネット強化事業

(1) 要支援者の早期発見・把握機能の強化

地区社協単位で、災害時（避難活動時）に何らかのサポートを必要とする人の把握と支援体制整備を、「いのちのバトン」の設置普及活動及び、「福祉・防災マップ」「避難行動要支援者リスト」の作成を通して進めた。

①いのちのバトン設置状況

	令和6年度	令和7年度	前年度比
実施地区数	21	21	—
設置人数	4,408	4,481	102%
一斉更新実施地区数	4	6	150%
随時更新実施地区数	14	15	107%

②福祉・防災マップ等作成状況

	UPZ圏内	UPZ圏外
	13地区（84集落）	4地区（45集落）
マップ・リスト作成済み地区	加納(7)、稲積(4)、上庄(7)、明和(4)、速川(9)、久目(11)、余川(7)、碁石(6)、八代(6)、阿尾(4)、薮田(3)、宇波(7)、女良(9)	宮田（18）、十二町（10） 神代（6）、仏生寺(11)
マップ・リストの作成・更新作業実施状況	11地区（62集落） 稲積(1)、上庄(7)、明和(4)、久目(11)、余川(7)、碁石(6)、八代(7)、阿尾(3)、宇波(7)、女良(9)	4地区（41集落） 宮田（17）、十二町（9）、仏生寺(11) 神代（4）

(2) 対象を限定しない生活支援サービスや居場所（拠点）づくり

住民のニーズに対応するため、地区社協等における生活支援サービス（買い物や移動等）の検討と実施、対象を限定しない居場所（拠点）づくりに関わる取り組みの支援を行った。

①継続し実施している取り組み状況

実施内容		実施地区
対象を限定しない居場所づくり		朝日丘、東、稲積、十二町、布勢、上庄、明和、速川、久目、余川、薮田、宇波、女良（13地区）
サ イ ジ ス 支 援	外出・移動の支援	朝日丘、仏生寺、宇波（3地区）
	学習支援の場	久目（1地区）
	多様な住民が参画できる 地域福祉活動の実施	稲積、久目、女良（3地区）

(3) 地域における相談機能の充実を目指した取り組み

地域住民の相談や困りごと、情報提供などを受け止める「地域なんでも相談」の設置と、地域の支援や専門職等につなぐ仕組みづくりの支援を行った。

①「地域なんでも相談」実施状況

実施形態	地 区
【常設型】 拠点・開催日を定め、月1回以上定期的に開設	継続実施：6地区 朝日丘、東、稲積、久目、上庄、余川
【行事併設型】 地域住民集う機会を活用し不定期に開設	継続実施：8地区 宮田、十二町、布勢、神代、明和、速川、宇波、女良

（４）地域福祉活動サポーターの育成

地域なんでも相談や地域福祉活動に関わりながら、地域住民からの相談対応に応じる人材として、地域福祉活動サポーターの育成を行った。

①新規育成研修の実施（全４回講座）

実施時期	受講人数	委嘱者数
3月12日(木)、16日(月)	28	28

7. 参加支援事業

参加支援コーディネーターを配置し、重層的支援会議で支援決定した要支援者に対し、必要な参加支援の場を提供できるよう、関係者とのネットワークの構築、新たな資源や支援の仕組みづくりを進めた。

相談実績	対象者実人数	3
	プラン作成件数	1

8. 生活支援コーディネーター設置事業

高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネートを行うことを目的に、生活支援コーディネーターを１名設置した。社会資源調査やその可視化、新たな生活支援サービスの検討、多世代交流のためのeスポーツ普及、だれでも参加できるみんなの集いの場を昨年度に引き続き開催した。

（１）生活支援コーディネーター活動状況

（回）

活動内容	令和６年度	令和７年度	前年度比
①地域のニーズと資源の状況の見える化と問題提起に関する業務	670	651	97%
②地縁組織等多様な主体への協力依頼などの働きかけに関する業務	151	191	126%
③関係者のネットワーク化に関する業務	175	251	143%
④目指す地域の姿・方針の共有、意識統一に関する業務	358	315	88%
⑤生活支援の担い手の養成やサービスの開発に関する業務	253	130	51%
⑥その他関連する業務及び個別ケースの同行訪問等	341	474	139%

（２）社会資源紹介シート

市内の社会資源紹介シートを作成し、市内居宅介護支援事業所、地域包括支援センター・地域窓口等に配布した。

エリア	令和７年度掲載資源数			令和６年度 掲載社会資源数	シート合計
	新規掲載	内容更新	削除		
氷見	4	1	0	8	12
南條	2	3	0	7	9
上庄谷	2	2	1	8	9
灘浦	2	3	0	11	13

（３）eスポーツ体験（市社協職員による体験活動の支援）

体験：20回（19か所）	機材購入地区・団体：1か所
--------------	---------------

(4)「ひみのわ」の開催

地域を問わず誰でも気軽に参加できる「ひみのわ」を開催した。

開催時期	内 容	会場	参加者数		
			R 6 年度	R 7 年度	前年度比
4月～3月 毎月1回 10:15～ 11:45 年間12回開催	① e スポーツ体験（太鼓の達人） ② 氷見きときと100歳体操 ③ お楽しみ企画 ・ボッチャ、モルック体験 ・腸活のお話 ・マジックショー ・キトキト氷見音頭を踊ろう ・気軽に脳トレ体験 ・ハーモニカコンサート ・出張おしゃべりサロンの会 ・防犯・交通安全講座 ・健康相談 ・思い出語りの会 ・笑いヨガ	ハッピータウン	159人	226人	142%
			サポーター数		
			R 6 年度	R 7 年度	前年度比
			18人	14人	-4人

「ボランティア・市民活動分野」

9. 氷見市ボランティア総合センター事業

(1) ボランティアコーディネート事業

ボランティアの連絡調整・相談により、ボランティア活動への参加を促進し活動の振興を図った。

〈職員配置〉 ボランティアコーディネーター4人（所長含む）
〈開設状況〉 開館日：年末年始（12月29日～1月3日）を除く毎日 開館時間 午前8時30分～午後10時
〈運営委員会〉 年2回開催 委員数11名

年度		令和6年度	令和7年度	前年度比
相談状況	ケース数 合計	196	186	95%
	希望	39	36	92%
	依頼	88	91	103%
	相談	69	59	86%

※日常対応は含まない

(2) ボランティアネットワーク事業

ボランティア活動者に限らず、ボランティアを推進（受け入れ側）している機関の登録を行い、情報を共有し連携し合うことで氷見市のボランティア活動の普及・充実を図った。

＜新規登録数＞	＜登録者総数＞	＜支援機関・支援施設登録数＞
個人 7人	個人 326人	支援機関 14機関
団体 1団体（延36人）	団体 104団体（延6,675名）	支援施設 20施設

(3) ボランティア保険普及事業

ボランティア活動者が安心して活動できるための保険の加入受付事務を行った。

項目	令和6年度	令和7年度	前年度比
ボランティア活動保険（基本プラン）加入者数	1,578	1,570	99%
ボランティア活動保険（天災・地震保証プラン）加入者数	255	205	80%
ボランティア行事用保険加入件数	25	25	100%
ふれあいサロンの保険加入者数	9,076	8,326	92%
ボランティア活動保険適用件数	1	1	100%

(4) ボランティア情報発信事業

広報紙や各種メディアなどを通して氷見市民及びボランティア登録者へ情報を発信した。

- ・広報紙「ひみのふくし」への情報掲載
- ・登録者への郵送・メールによる情報提供
- ・行政チャンネルにて番組「ボランティアだより」を制作・放送
- ・新聞各社へのボランティア情報の提供
- ・SNSを活用した情報提供方法として①LINE、②Facebook、③Instagramの公式アカウントで情報発信

(5) 研修会への参加

職員の資質向上を目的に各種研修会に参加した。

- ・市町村ボランティアコーディネーター研修
- ・災害ボランティアセンターマネジメント研修会
- ・都城市社会福祉協議会 人事交流研修

(6) 福祉教育推進事業

幼児からお年寄りまで、地域の中で共に生きる力を育成するために様々なプログラムを実施した。

事業名（テーマ）	開催日時	参加者数	内容（テーマ）
ボランティア・チャレンジ・プログラム(V・C・P)	7月25日(金)～ 8月26日(火)	21人	市内の福祉事業所及び地域活動、ボランティア団体の活動等にボランティアとして参加。 活動先22か所 対象：市内在住・通学中の中高生
ボランティア・チャレンジ・親子体験プログラム（再掲）	7月26日(土) 9:00～12:00	小学4～6年生親子3組 中学生4名 計10名	将来の福祉人材確保の取り組みとして、小・中学生とその親を対象に、介護等を体験し、介護等福祉職の魅力を発信した。
	7月27日（日） 9:00～12:01	小学4～6年生親子2組 中学生6名 計11名	当日の内容：職員による施設案内・介護機材の説明、AIを使った最新技術体験、認知症の話、クイズ大会、車いす体験、利用者との交流・工作レクリエーション、職員への質問タイム
出張ボランティアセンター	5月8日(木) ～1月29日(木) 14:00～17:00 計8回	延べ78人	地域の探求実践者に学ぶ（HIMI学Ⅰ） 対象：氷見高等学校1年生 会場：氷見高等学校
	6月3日(火) ～12月16日(火) 14:00～16:00 計11回	延べ22人	HIMI学Ⅱ 対象：氷見高等学校2年生 会場：氷見高等学校ほか
	6月19日(木) ～2月19日(木) 13:25～15:15 計3回	延べ319人	氷見市立北部中学校「総合的な学習の時間」 対象：氷見市立北部中学校1～3年生 会場：氷見市立北部中学校

(7) 各種ボランティア講座・研修開催事業

ボランティア個人・団体等のニーズに合わせた各種講座・研修を開催した。

事業名	開催日時	参加者数（内訳）	内 容
テーマ型ボランティア講座 「レクリエーションボランティア育成講座」	全3回 (1)2月25日(水) 13:30～15:30 (2)3月4日（水） 13:30～15:30 (3)3月11日(水) 13:30～15:30	受講者21名 内訳 男性：1名 女性：20名	年齢や性別、国籍なども超えて楽しみ、交流できる活動として市内でも様々な場面で親しまれているレクリエーションについて学び、地域のサロンや福祉施設等で活躍するレクリエーションボランティアを育成する講座を開講した。講師から「心の元気づくり」に向けたアイスブレーキングやホスピタリティなど活動をする上でのポイントを学んだ。実技では数種類のレクリエーションを体験し、今後活かせるプログラムを作成した。 受講者は講座で学んだ内容を活かし、地域のさまざまな場面で活動している。 講師 富山県レクリエーション協会 事務局長兼専務理事 石上 隆宏 氏

ボランティアイベント 「出張ボランティアセンター」	①5月20（火） 10:00～13:00 ハッピータウン氷見ショッピングセンター1階催事場	①来場者38名	ボランティアの裾野拡大のため、ボランティア活動・団体に関する情報やボランティア体験の提供、気軽に取り組める活動の紹介を行った。また、活動者や団体が交流する場や日頃の活動成果を披露する場を設けることで、活動に対する意欲を高め、今後の市内ボランティアの活性化を図ることを目的に実施した。 ・ボランティア相談 ・遊休品バンクの紹介（寄付受付） ・ボランティア団体紹介パネル展示 ・ぬいぐるみバザー ・レクリエーション貸出品体験会 ・絵手紙のパネル展示(にっこり絵手紙) ・学生ボランティアチャレンジブース ・綿菓子の配布 ・市内福祉事業所紹介 (就労継続支援B型事業所ぐらんぶる～、就労継続支援B型事業所 安靖氷見共同作業所) ・十二町保育園年長児イラスト展 ・手形べったんうちわコーナー ・風船プレゼント（氷見市共同募金委員会） ・ステージ発表（ハーモニカアンサンブルアスナロ、キトキト座） ・体験コーナー（にっこり絵手紙）
	②8月30（土） 9:30～12:00 ハッピータウン氷見ショッピングセンター1階催事場	②来場者166名 運営協力ボランティア 団体：2団体（16名） 個人：7名	
	③11月14（金） 9:30～12:00 氷見漁港場外市場 ひみ番屋街（西の番屋内）	③来場者90名 運営協力ボランティア 団体：1団体(3名) 福祉事業所：4名	
	④2月20（金） 10:00～14:00 氷見漁港場外市場 ひみ番屋街（西の番屋内）	④来場者70名 運営協力ボランティア 団体：1団体(5名) 個人：1名 福祉事業所：4名	

（８）遊休品バンク「Ｅくすちやー・Ｅかすちやー」の実施

市民や団体等からの生活物品の寄付を受付、生活困窮者や災害被災者等の緊急的に支援が必要な対象者に必要な物資を提供した。

寄付（Ｅくすちやー）		
項 目	令和6年度	令和7年度
寄付希望相談受付件数	24	28
受付物品数	121	181
物品	57	181
食品	64	0
受付不可物品等	12	35

受付物品の内訳

冷蔵庫、洗濯機、下着 自転車制服、プリペイドカード他

提供（Ｅかすちやー）		
項 目	令和6年度	令和7年度
提供依頼相談受付件数	31	23
提供物品数	268	112
物品（貸し出し含む）	105	112
食品	163	0
提供不可（延）	22	77

提供物品の内訳

洗濯機、冷蔵庫、電子レンジ、暖房機器、タオル、布団、下着等

（９）その他の関連事業

センターとしてその他継続事業を実施した。

事業名	開催日時	参加者数等
施設ボランティア担当者連絡会	6月19日（木） 13:30～15:00	参加施設 16施設
災害救援ボランティア整備事業	4月1日～3月31日	災害ボランティア・支えあいセンターの運営のための資機材の準備・環境整備等を行った。
サロン等活动支援事業	通年	54件（サロン等で活用するレクリエーション資材の貸出）
ボランティア寄付金の受付	通年	8 件

10. 災害ボランティア・支えあいセンター設置運営事業

令和6年能登半島地震からの復旧・復興を目指して、災害ボランティア・支えあいセンターを開設し、孤立・孤独の予防・早期発見を視野に入れた生活支援の把握を含めて、ボランティアによる支援、関係機関（行政等）と連携した支援を行った。

開設状況	内容
相談・活動者の受入：4月1日～3月31日	新規相談ケース数：105件（その他問い合わせ等59件）
	ボランティア事前登録者数：283名
	ボランティア活動者数：延1402名
災害ボランティア一泊、お疲れ様でした会：3月28日	令和8年3月31日に「氷見市災害ボランティア・支えあいセンター」閉所に伴い、これまでの取り組みの振り返り及び、新たなネットワーク構築や今後の構想紹介を行う場を設けた。参加者：50名

Ⅲ こども支援課

1. ファミリー・サポート・センター

(1) 会員の状況

①依頼会員数

	令和6年度	令和7年度	前年比
依頼会員数	780	816	105%

②協力会員数

	令和6年度	令和7年度	前年比
協力会員数	13	11	85%

③地区別会員数

エリア	協力会員数	依頼会員数
氷見	6	248
南條	2	351
上庄谷	3	85
灘浦	0	60
市外在住登録者	0	72
合計	11	816

(2) 利用状況

①場所別 (件)

利用場所	令和6年度	令和7年度	前年比
こども館きらら	22	4	18%
ヘルパー宅	0	0	-
利用者宅	1	0	-
その他 (いきいき元気館)	124	97	78%
合計	147	101	69%

②理由別

利用理由	きらら	ヘルパー宅	利用者宅	その他	合計
・保育施設の保育開始前の預かり					0
・保育施設の保育終了後の預かり					0
・保育施設までの送迎					0
・放課後児童クラブ終了後の預かり					0
・学校の放課後の預かり					0
・冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の預かり				1	1
・買い物等外出の際の預かり	3			24	27
・兄弟姉妹の病気時の預かり					0
・兄弟姉妹の習い事時の預かり					0
・保護者の短時間・臨時的就労時の預かり	1			64	65
・保護者の求職活動中の預かり					0
・産前産後の安静時の預かり				3	3
・保護者の体調不良時の預かり				5	5
延べ利用者数	4	0	0	97	101

前記預かり状況内の病児・緊急対応強化事業による預かり	きらら	ヘルパー宅	利用者宅	その他	合計
* 回復期にある子どもの預かり	0	0	0	0	0
* 早朝 (8:00以前)、夜間 (18:00以降) の緊急預かり	0	0	0	0	0

(3) 情報提供

広報紙「ひみのふくし」への情報掲載、各保育園・病院・市役所・各行政機関等へのチラシの掲示、配布を行った。

2. 事業所内保育所事業（R7年度休園）

（1）事業の概要

施設の種類	事業所内保育所
施設の名称	こども館きらら
施設の所在地	氷見市鞍川9 7 5 番地
対象児童	児童福祉法及び子ども・子育て支援法の定めるところにより、保育を必要とする概ね0歳～2歳の児童
事業内容	・事業所の従業者の仕事と子育ての両立を支援するために乳幼児の保育を行う ・様々な状況に合わせた保育の場を確保するため、地域の保育を必要とする乳幼児の保育を行う
利用定員	満2歳の児童 3人（うち地域枠2人）
	満1歳の児童 3人（うち地域枠2人）
	乳児 6人（うち地域枠4人）
開所日・時間	月曜日から土曜日まで（日曜、祝日は休所） 7時30分～18時30分

（2）利用状況（月初め入所児童数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児												
1歳児												
2歳児												
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3. 氷見市児童館

（1）氷見市児童館事業

様々な遊びや体験活動を提供することで、子どもたちの健やかな成長を支援した。

定例行事の他、子どもたちと地域が結びつくことのできる行事を多く取り入れるなど、異世代交流にも力を入れた。

事業名	活動内容	協力者	開催回数	延参加者数
プログラミング教室	プログラミングの基本を学んだ。	オヤベクラフト	10	79
将棋教室	将棋の基本を学んだ。	氷見王将会	11	35
創作教室	竹や紙を素材とした工作活動を実施した。	氷見市児童クラブ連盟	10	26
お茶教室	日本の伝統文化に触れ、基本的な作法を習得した。	橋本良美 氏	9	36

①年間行事

事業名	活動内容/実施日	協力者	開催回数	延参加者数
地域ボランティア推進事業	地域体験活動（釣り体験） 8月17日（日）、8月24日（日） 11月15日（土）	児童支援ボランティア	3	25
	クリスマスまつり 12月6日（土）	児童支援ボランティア	1	117

②地域子育て活動支援

事業名	活動内容	協力者	開催回数
出張児童館	地域の拠点において、様々な遊びのプログラムを提供	登録ボランティア	13回
フードパントリー	経済的に困窮している家庭への食材支援 (7月、11月、3月)	児童支援ボランティア	3回
こども食堂支援	ひみキトキトこども食堂ネットワーク事務局、こども食堂の周知、活動支援	各こども食堂スタッフ等	23回

③児童館利用状況

利用者区分	令和6年度	令和7年度	前年度比
幼 児	1,218人	1,033人	85%
児 童	9,653人	11,955人	124%
生 徒	226人	174人	77%
大 人	1,450人	1,250人	86%
合 計	12,547人	14,412人	115%
開設日数	359日	359日	

(2) 放課後児童対策事業

昼間保護者のいない家庭の児童を対象に、児童の保護や健全育成の向上を図るため、氷見市児童館の1室を利用して、保護者が帰宅するまでの間、指導員により、学習指導や遊び等を通して健全育成活動を行った。

対象児童	日中家に保護者のいない東地区の1年生～3年生(定員40名)、4年生～6年生(定員25名) ※H27年度より、2つの学童保育を実施・・・1～3年生(ファン)、4～6年生(ジャンプ)	
開設時間	月曜日から金曜日 午後2時～午後10時	土・日・祝日(長期休暇) 午前8時～午後8時
開設日数	平日 207日	土・日・祝日(長期休暇) 152日

学年別 登録者数	ファン				ジャンプ						
	1年生	2年生	3年生	合計	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計
	16	13	11	40	4	2	1	7	10	4	28

* ファン定員オーバーの為、ジャンプに他地区の児童および兄弟のいる1年生から3年生を含む

延利用者数	令和6年度	令和7年度	前年度比
	8,296	10,610	128%

活動内容	自主性・社会性・創造性の向上を図るため、遊びを中心とする活動の支援 ・読書 ・遊具を使った遊び ・軽運動 ・工作 ・異年齢交流活動(囲碁・将棋)等 ①遊びを通しての生活指導、健康管理と安全確保、小学校との情報交換会の実施 ②児童の活動状況の把握と家庭への連絡、親子活動の実施等 * 活動場所：児童館(ITワールド、こどもの城、工作室)・いきいきサロン、アリーナ(一部)
------	---

（３）子育て支援スタッフ育成・発掘事業

地域ぐるみで子育てしやすい環境を作るため、子育て支援現任者や、子育てに関心のある者等を対象とした研修を実施することと、地域における多様な子育て支援の充実を図った。

①子育て家族応援講座

日時	テーマ及び講師	参加者数
6月26日(木)	こころを整えて活動しよう ～アンガーマネージメントについて～	35
6月27日(金)	子どもたちが楽しくなる体験活動 ハーバリウムを作ってみよう①	22
6月30日(月)	子どもたちが楽しくなる体験活動 ハーバリウムを作ってみよう②	23
7月2日(水)	普通救命講習Ⅲ①	18
7月3日(木)	普通救命講習Ⅲ②	16
7月16日(水)	家庭や学校に居場所のない子どもへの支援	42
延参加者数		156

（４）学習・生活支援事業

貧困の連鎖を防止するため、ひとり親世帯、生活困窮世帯、生活保護受給世帯、就学援助受給世帯等の子どもに対し、学習・生活援助を推進することを目的とし、該当世帯の子どもに対する学習・生活支援を行った。また、支援が必要な子どもや家庭に適切な支援が届くよう、関係機関とのネットワーク構築を図った。

事業名	活動内容	参加者数
D.Dスマイル塾	学習・生活支援の場を設け、週４回実施した。その際、「学習支援員」と生活支援を含めた学習のサポートをする「サポーター」を配置した。	17人(延1,210人)
お楽しみ交流会	調理体験、サバイバル体験、海釣り体験、交流会等	延97人

Ⅳ 高齢者支援課

1. 居宅介護支援事業

介護認定を受けられた方が、安心して自宅で生活できるよう、介護支援専門員が介護サービスの調整や相談に対応した。（介護支援専門員 5人）

（1）ケアマネジメント延件数

	令和6年度	令和7年度	前年度比
延利用件数	1,743	1,729	99%
実人数	237	218	92%
新規件数	46	44	96%
中止件数	54	33	61%

（2）要介護度別延べ利用者数

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
延べ人数	13	0	746	412	293	157	108	1,729
構成比	0.8%	0.0%	43.1%	23.8%	16.9%	9.1%	6.2%	100%

2. 訪問介護事業

ヘルパーが訪問し、身体介護や生活援助など、本人の意欲や能力を引き出しながら日常生活を支援した。（サービス提供責任者 4人 登録ヘルパー12人）

（1）要介護度別利用者数

要介護度	実利用者数（人）		令和7年度 構成比	利用者数 前年度比
	令和6年度	令和7年度		
要支援 1	16	26	13%	163%
要支援 2	37	35	18%	95%
要介護 1	48	51	26%	106%
要介護 2	31	22	11%	71%
要介護 3	33	29	15%	88%
要介護 4	23	20	10%	87%
要介護 5	17	17	9%	100%
合計	205	200	100%	98%

（2）業務内容別集計

業務内容	利用回数		前年度比
	令和6年度	令和7年度	
身体介護中心	4,124	2,637	64%
生活援助中心	5,432	6,093	112%
身体介護+生活援助	1,110	1,150	104%
通院等乗降介助	224	338	151%
合計	10,890	10,218	94%

3. 日常生活用具貸出サービス

介護保険外で特殊寝台や床ずれ予防マット、車椅子などの福祉用具を貸与した。

利用状況

利用者区分	延べ利用者数		前年度比
	令和6年度	令和7年度	
社協福祉サービス	345	293	85%
合 計	345	293	85%

4. 日常生活金銭管理サービス

訪問介護利用者の買い物代金の預かりなど、日常生活に必要な金銭管理を行った。（社協独自サービス）

	令和6年度	令和7年度	前年度比
実利用者数	26	23	88%

5. ほっとヘルプサービス事業

介護保険の訪問介護サービスを適用できない方が対象。

	令和6年度	令和7年度	前年度比
実利用者数	2	4	200%

6. 障害者ホームヘルプサービス

在宅の障害者宅にヘルパーが訪問し、日常生活を支援した。

	令和6年度	令和7年度	前年度比
実利用者数	18人	14人	78%
利用回数	876回	812回	93%
利用時間数	984時間	713時間	72%

	家事援助	身体介護	同行・通院
実利用者数	10人	3人	1人
利用回数	605回	203回	8回
利用時間数	533時間	181時間	16,25時間

V 障害者支援課

1. 障害者福祉センター

(1) 障害者総合相談

主任相談支援専門員が、年齢や障害種別にかかわらずご本人やその家族の相談に応じ情報提供をしたり、問題解決のための調整を行った。

①相談件数

障害種別	令和6年度	令和7年度	前年度比
身体障害者	89	33	37%
知的障害者	28	16	57%
精神障害者	995	947	95%
その他	16	18	113%
合計	1,128	1,014	90%

②相談実人数

障害種別	令和6年度	令和7年度	構成比
身体障害者	13	15	56%
知的障害者	5	4	15%
精神障害者	15	6	22%
その他	2	2	7%
合計	35	27	100%

③内容別相談内訳

内容	令和6年度	令和7年度	前年度比
福祉サービス利用に関すること	35	104	297%
障害や病状の理解に関すること	170	535	315%
健康・医療に関すること	153	7	5%
不安の解消・情緒安定に関すること	666	172	26%
保育・教育に関すること	12	20	167%
家族関係・人間関係に関すること	330	19	6%
家計・経済に関すること	8	4	50%
生活技術に関すること	49	154	314%
就労に関すること	3	18	600%
社会参加・余暇活動	18	0	0%
権利擁護	6	4	67%
その他	0	12	—
合計	1,450	1,049	72%

④計画相談支援

支援内容	令和6年度	令和7年度	前年度比
サービス利用・継続支援 (初めてサービスを利用する方の計画相談)	2	2	100%
サービス継続支援 (サービス利用のモニタリング)	6	3	50%
サービス利用支援 (サービスを変更したい方のための計画相談)	7	0	0%
合計	15	5	33%

(2) 障害区分認定調査

誰もが平等公平に障害福祉サービスを受けることができるよう、専門的な視点で、認定調査を行った。

①障害区分認定調査実人数

調査対象者分類	令和6年度	令和7年度	前年度比
施設入所者	15	5	33%
在宅者	16	29	181%
合計	31	34	110%

うち、県外3

(3) デイサービス

令和7年2月より、通所介護（介護保険事業）は共生型に変更した。同時に生活介護、放課後等デイサービスは障害福祉サービスの指定を受け、より専門的なサービスを提供できるよう体制を整えた。

①サービス別利用内訳

サービス	実利用人数			延利用回数		
	令和6年度	令和7年度	前年度比	令和6年度	令和7年度	前年度比
地域密着型通所介護	8	9	113%	645	522	81%
指定生活介護	12	8	67%	1,718	1,371	80%
指定放課後等児童デイサービス	5	5	100%	566	842	149%
通所入浴	0	0	—	0	0	—
障害児通所入浴	5	5	100%	149	352	236%
合計	30	27	90%	3,078	3,087	100%

②介護度、障害区分別利用内訳

区分	実利用人数			延利用回数		
	令和6年度	令和7年度	構成比	令和6年度	令和7年度	構成比
要支援1	0	0	—	0	0	—
要支援2	0	0	—	0	0	—
要介護1	2	2	22%	181	110	21%
要介護2	2	2	22%	66	91	17%
要介護3	3	2	22%	251	168	32%
要介護4	2	2	22%	135	129	25%
要介護5	1	1	11%	15	24	5%
介護計	10	9	100%	648	522	100%
障害区分1	0	0	—	0	0	—
障害区分2	1	1	11%	254	249	18%
障害区分3	4	0	0%	188	0	0%
障害区分4	2	2	22%	303	226	17%
障害区分5	3	2	22%	174	210	15%
障害区分6	5	4	45%	799	686	50%
障害計	15	9	100%	1,718	1,371	100%
合計	令和6年度	令和7年度	前年度比	令和6年度	令和7年度	前年度比
介護+障害	25	18	72%	2,366	1,893	80%

VI ふくし相談サポートセンター

1. ふくし相談サポートセンターの運営

市庁舎内において、福祉介護課・子育て支援課・市社協が官民協働で行う福祉の総合相談支援窓口として、各課の申請や相談窓口で対応しつつ、「どこに相談すればよいかわからない」「制度を活用できない」、「重複する生活課題を抱えている」などの相談を市社協が対応した。

(1) 相談件数実績

		令和6年度	令和7年度	前年度比	構成比
新規相談件数		126	182	144%	100%
相談経路 内訳	当事者	34	52	153%	29%
	家族	19	36	189%	20%
	知人	3	2	67%	1%
	地域	16	29	181%	16%
	専門機関	32	37	116%	20%
	行政	22	26	118%	14%
相談実件数		1,036	1,165	112%	
延支援回数		5,374	5,395	100%	
支援内訳	電話	1,580	1,679	106%	
	訪問	760	928	122%	
	来館	519	573	110%	
	その他	2,515	2,215	88%	
主訴終結ケース		48	48	100%	
主訴終結割合		5%	4%	80%	

(2) 相談内容内訳

主な相談内容（重複有）	令和6年度	令和7年度	前年度比
病気や健康	39	57	146%
障害	21	44	210%
介護	10	8	80%
子育て	6	12	200%
食べるものがない	5	7	140%
家族関係	26	53	204%
人間関係	3	5	167%
地域との関係	6	11	183%
収入・生活費	39	49	126%
住まい・家賃	19	37	195%
ローン・債務の支払い	13	10	77%
税金や公共料金等の支払い	9	15	167%
貸付に関する事	7	6	86%
保証人に関する事	1	3	300%
仕事探し、就職	13	24	185%
仕事上の不安やトラブル	6	4	67%
ひきこもり	6	15	250%
不登校	2	4	200%
DV・虐待	6	5	83%

その他	41	54	132%
-----	----	----	------

2. 基幹相談支援事業

障害分野における相談支援事業所の個別支援計画作成支援や困難ケースへのアドバイス及び介入をはじめ、人材育成・各機関とのネットワークづくり等市内の障害に関する環境整備を行った。

(1) 相談件数及び支援時間実績

	令和6年度	令和7年度	前年度比
新規相談件数	33件	65件	197%
実件数	336件	337件	100%
延支援回数	2,901時間	2,538時間	87%
延支援時間数	1,341時間	1,319時間	98%

(2) 障害種別による新規相談件数

障害種別		精神	知的	身体	重複	難病	児童	不明	合計
実人数	令和6年度	16	4	0	0	1	4	8	33
	令和7年度	19	8	3	3	1	3	28	65
構成比(R7)		29.2%	12.3%	4.6%	4.6%	1.6%	4.6%	43.1%	100%

(3) 各種会議（部会）の運営

関係機関との情報共有を行い、障害者支援のネットワークづくり、サービスの開発・強化について会議を行った。

会議・部会名	主な内容
氷見市相談支援事業所連絡会（全24回）	令和7年度より、5事業所による協働体制を締結し、月2回以上の連絡会を実施した。日頃の相談業務で困難な事例についてアイデアを出し合い、課題について検討する。事例検討10回、他、研修会の情報提供や協働支援体制の強化を図る目的で県外事業所への視察研修を実施した。
就労支援連絡会（全5回）	支援学校との情報交換会、学校見学会へ参加、事例検討の他、障害者差別解消・防災・感染症対策研修会を開催し、資質向上や情報共有を図った。
氷見市障害者サービス調整会議（全4回）	各連絡会の報告や自立支援協議会設置運営ガイドライン改訂版について情報共有を行った。

(4) 居場所づくり

事業名	主な内容
リカバリーカフェ	ピア・フレンズ（精神疾患を持ちながら地域の仲間を支える）が主体的に場を運営し、相談にのったり、テーマに沿った研修を企画した。年12回 毎回約10人参加。
レターカフェ	「Letter Café」発刊。年6回、約780部発行。

(5) 各種研修会など

事業名	実施日	参加者数	主な内容
令和7年度 障害者差別解消・防災・感染症対策研修会	令和8年2月27日(金)	27	①障害者虐待防止について 講師：氷見市福祉介護課 課長 栗屋 正弘 氏 ②既存の福祉・防災マップを活用した個別避難計画作成 講師：氷見市地域防災課 主任 水本 親行 氏 ③感染症の予防と対策について 講師：高岡厚生センター氷見支所 衛生予防課 保健師 石田 遥香 氏

3. 生活困窮者自立相談支援事業

「生活困窮者自立支援制度」に基づき、経済的困窮者や複合的な課題を持つ世帯を対象に、相談支援業務を担当し、従来の福祉分野を越えた多職種で支援するためのマネジメント及び就労に向けた環境整備等を行った。

相談件数等実績

		令和6年度	令和7年度	前年度比
	相談件数総数	997	1102	111%
	継続件数	895	958	107%
	新規件数	102	144	141%
延支援回数		3,841	4,655	121%
主訴終結件数		34	39	115%
内訳 (重複あり)	ケアプラン作成件数	14	16	114%
	支援調整会議の開催回数	3	4	133%
	就労支援件数	31	55	177%
	緊急食糧支援食品提供個数	1,154	1,246	108%
	住居確保給付金相談件数	1	4	400%
	生活福祉資金貸付相談件数	29	9	31%
	生活保護相談連携件数	3	7	233%

4. 家計改善支援事業

収入(賃金・公的年金等)と支出のバランスが崩れることにより、様々な生活課題を抱えている生活困窮世帯を対象に、家計状況を整理するなど、収入と支出のバランスが保たれるよう支援を行い、関係する生活課題の解決を図った。

主な内容及び成果	令和6年度	令和7年度	前年度比
生活困窮者家計相談者数	72	45	63%
同家計支援者数	46	69	150%
延支援回数	356	279	78%
生活福祉資金貸付相談者数	29	9	31%
同貸付支援者数	4	0	0%

5. 生活困窮者等緊急生活支援事業

生活困窮者や緊急的な支援が必要な世帯を対象とし、必要最小限の食料品や衣類等生活用品の提供、住まいの応急的な補修・環境整備に要する資材の提供等、衣食住に対する支援を行った。

	令和6年度	令和7年度	前年度比
支援対象者数	43	59	137%

6.ひきこもり支援推進事業（ひきこもりサポート事業）

ひきこもり支援を推進するための体制を構築し、ひきこもり状態にある本人や家族等を支援することにより、ひきこもり状態にある本人の社会参加を促進し、本人及び家族等の福祉の増進を図った。

（１）相談件数実績

		令和7年度	相談内訳
新規相談件数		18	
相談経路	当事者	4	母2, 父1, 姉妹2 民生委員2, サポーター2 こども1, 教育1, 包括1 障害者就労支援事業所 総合病院1 専門医1
	家族	5	
	地域	3	
	行政	3	
	専門機関	1	
	医療機関	2	
	その他	0	
継続支援実人数		22	
延支援回数		985	
支援内訳	電話	293	
	訪問	210	
	来館	110	
	その他	372	

（２）年代別、性別の相談実人数

	男	女	合 計
10代	3	3	6
20代	4	2	6
30代	5	1	6
40代	5	4	9
50代以上	7	4	11
年齢不明	1	1	2
合 計	25	15	40

（３）各種会議や研修会の開催

会議名	主な内容
セーフティーネット分科会・構築会議（全3回）	ひきこもり支援の課題について、新たな取組や仕組みについて、分科会や構築会議で協議検討を行った。
支援会議（全3回）	ひきこもり支援における検討が必要な個別事例に対して、関係者を招集し、対応策の検討及び役割分担を行った。
ひきこもり支援研修会 視察研修（全2回）	社会的孤立状態にある市民や家族を早期に発見できる体制を作るため、市民や専門職向けの研修や視察を行った。 ○氷見市ひきこもり研修会 開催日 令和8年3月17日（火） 参加者 31名 テーマ「ひきこもりの基礎知識と本人との関わり方」 講師：川田病院 臨床心理士 石黒美幸氏 ○視察研修 開催日 令和8年2月25日（水） 参加者 5名参加 視察場所 愛知県刈谷市 NPO法人 プラットホーム

7. 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

多機関協働マネジャーを配置し、対象を限定せず全ての市民の福祉に関わる相談に対応すると共に、地域や包括的相談事業（地域包括支援センター、困窮、基幹、子育て世代包括支援センター等）が把握した「社会的孤立者」等の支援について、地域、専門職、行政が円滑に連携し支援できるようコーディネートした。また、重層的支援会議等、各種会議を通して支援体制の強化に関する取り組みを行った。

（１）相談件数実績

	令和6年度	令和7年度	前年度比
新規相談件数	25	31	124%
相談経路	当事者	5	40%
	家族	3	133%
	知人	0	—
	地域	4	225%
	専門機関	7	29%
	行政	6	117%
	医療機関	0	—
継続相談件数	34	37	109%
延支援回数	977	643	66%
支援内訳	電話	253	50%
	訪問	130	40%
	来館	83	90%
	その他	511	76%

（２）セーフティネット関係会議への参画、研修参加

会議名	開催回数		内容
	令和6年度	令和7年度	
地域セーフティネット定例会議	8回	10回	市関係課職員及び市社協職員で構成し、庁内連携をスムーズに行うための情報共有や相談支援事例をととして連携体制のルールやセーフティネット構想の実現に向け協議・検討した。
地域セーフティネット構築会議	2回	2回	地域、専門機関、ボランティア団体等で構成、氷見市の包括的支援体制を目指し、社会的孤立や孤独に陥っている方（陥る可能性のある方）を早期に発見する仕組みなど実現に向けた取組について協議・検討した。 講師・アドバイザー 日本福祉大学 学長 原田 正樹氏
地域セーフティネット分科会	12回	13回	①ひきこもりの住民への支援体制の構築 1回 ②権利擁護（死後事務、身元保証人など） 5回 ③居住・居場所作り 3回 ④災害時の福祉環境の整備 1回 ⑤地域組織の維持 3回
セーフティー専門研修会	2回	3回	◎ひきこもり支援研修会 令和8年3月17日（火） ※再掲 ◎権利擁護研修 令和7年11月7日（金） ※再掲 琴平町社会福祉協議会の取り組み ◎4市合同地域福祉実践研修会 9月8日・9日 ※再掲
重層的支援会議（本人同意あり）	26回 （14人）	21回 （9人）	複雑化・複合化した支援ニーズを有する者やその世帯に対して、関係者を召集、情報共有をした上で、対応策の検討及び役割分担を行い、支援の方向性にかかる合意形成と、支援に向けた円滑なネットワーク形成を図った。
個別支援会議（本人同意なし）	46回 （39人）	20回 （7人）	
地域会議	13地区 14回	13地区 14回	地区社協や民生委員児童委員の地区定例会等に訪問し、地区内で挙がっている個別相談事例を共有し、支援方法について検討などを行った。

8. アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

アウトリーチ支援員を1名配置し、訪問支援機能を高めるとともに、地域や行政・専門機関と連携し、社会的孤立状態に陥っている（陥る可能性のある人を含む）人・世帯への支援を円滑に進めた。

（1）相談件数実績

		令和6年度	令和7年度	前年度比
新規相談件数		62	38	61%
相談 経路	当事者	17	1	6%
	家族	6	6	100%
	地域	11	20	182%
	知人	0	0	—
	行政	11	4	36%
	包括ランチ	3	1	33%
	介護支援専門員	1	1	—
	医療機関	3	0	—
	障害関連機関	2	0	0%
	県社協	0	0	—
	市社協	4	2	50%
	その他	4	0	0%

（2）相談内容内訳

主な相談内容（重複有）		令和6年度	令和7年度	前年度比
相談内容総数		155	73	47%
内訳	病気や健康	36	13	36%
	障害	14	5	36%
	介護	5	3	60%
	子育て	2	1	50%
	食べるものがない	4	0	0%
	家族関係	10	5	50%
	人間関係	6	2	33%
	地域との関係のこと	11	5	45%
	収入・生活費	21	6	29%
	住まい・家賃	11	14	127%
	ローン・債務の支払い	5	1	20%
	税金や公共料金等の支払い	5	2	40%
	貸付に関すること	1	1	100%
	保証人に関すること	1	2	200%
	仕事探し、就職	5	2	40%
	仕事上の不安やトラブル	1	0	—
	ひきこもり	6	5	83%
	不登校	1	0	0%
	D V・虐待	1	1	100%
	その他	9	5	56%

(3) 地域福祉活動サポーター活動状況

①地域福祉活動サポーターの委嘱及び活動状況

	上期	下期	R7年度末
地域福祉活動サポーター委嘱者数	—	—	125人
相談を受けたサポーターの人数	84人	58人	—
相談・情報提供の件数	229件	134件	—

②相談内容別件数（重複あり）

相談内容	件数
高齢者（介護）に関すること	68
高齢者（認知症・生活面）に関すること	146
障害に関すること	5
児童・生徒に関すること	5
家族関係に関すること	7
地域・近隣関係に関すること	41
暮らしに関すること	59
ひきこもりに関すること	4
その他	55
合計	390

③対応内容別件数（重複あり）

対応内容	件数
話を聞くことで済んだ/サポーターとして対応した	292
地区社協で対応した	12
民生委員の協力を得て対応した	73
自治会の協力を得て対応した	14
サポセンへ相談・情報提供した	8
サポセン以外へ相談 ※相談した専門職・機関 ・包括地域相談窓口 ・ケアマネジャー	10
合計	409

④地区社協等における地域福祉活動参加状況（上期・下期の延べ参加人数・重複あり）

内 容	人数
ケアネット活動の協力	192
なんでも相談会の協力	45
ふれあいランチなど高齢者の集いの場の協力	134
配食やいのちのバトンの配布など個別訪問活動の協力	123
きとくと100歳体操（地区社協主催）の協力	65
子育てサークルなど、子育て支援	51
住民の集いの場（サロン活動）	79
その他（会合出席、マップ作成等）の活動	148
合計	837

9. 被災者見守り・相談支援事業

生活相談支援員を2名配置し、応急仮設住宅等に入居した被災者に対して、孤立防止等のための見守り支援や日常生活上の相談を行うとともに、被災者を関係支援機関へつなぐ等の支援を行った。

(1) 対象者の状況

ステータス	件数
対象者数	202
訪問済み	176
訪問不要	26

(2) 対応方法別延件数

対応方法	件数
訪問	479
電話	338
来所	88
その他（郵送含む）	713
合計	1,618

(3) 相談内容別件数

相談内容	件数
家族関係	63
経済面	48
居住関係（みなし仮設）	83
居住関係（再建）	284
就労	20
介護・福祉	25
保健・医療	49
その他	295
合計	867

→

その他内訳
公費解体、近所付き合い、相続放棄、買い物・外出の困りごとなど

VII SDGs推進室

「福祉サービス利用支援」

1. 日常生活自立支援事業

		令和6年度	令和7年度	前年度比
問合せ件数		4	10	250%
初期相談件数		3	4	133%
相談援助件数		322	542	168%
契約締結件数	前年度末利用者数	8	9	113%
	新規契約者件数	3	1	33%
	契約終了者件数	2	4	200%
	年度末利用者数	9	6	67%
生活支援員	登録者数	7	7	100%
	延活動回数	108	118	109%

2. 成年後見制度利用の支援

	令和6年度	令和7年度	前年度比
実利用者数	3	2	67%

3. 生活福祉資金貸付事業

(1) 本則における相談実績

	令和6年度	令和7年度	前年度比
相談実人数	35	24	69%
相談延回数	114	106	93%
貸付申請件数	5	0	0%
貸付決定件数	5	0	0%
貸付不承認件数	0	0	0%

(2) 新型コロナウイルス感染症における特例貸付債権管理の相談実績

	令和7年度
借受世帯へのアプローチ延べ回数	33回
借受人等からの相談延べ回数	41回

Ⅷ. 施設管理（指定管理者制度）

1. いきいき元気館の運営・管理

利用者状況

	令和6年度	令和7年度	前年度比
利用者数	18,421	21,202	115%

2. 屋内健康広場の運営・管理

利用者状況

	令和6年度	令和7年度	前年度比
利用日数	210	188	90%
利用者数	4,536	4,194	92%
利用コート数	323	285	88%

※令和5年度は7月から受託